



浦島伝説

第 46 号

花束をひざに置いて冬日観

「寒い寒いと思っていた冬のある日、窓際に座しているとぽかぽかとひざが暖かい。冬の日差しが差し込んできている。『ああ、冬の中にも少しずつ春が息づいているんだな』と思う。ひざはまるで花束を置いたような感じになり、心まで温かくなっていく」という気持ちを表した一句です。

1月20日は「大寒」、一年で最も寒い時期を迎えました。3年生は私立高校入試も終わり、次は公立高校入試に向けて、さらに厳しい戦いを迎えるようとしています。“春”をつかむためにも、今こそ全力でがんばってほしいものです。

先日、春の選抜高校野球の入場行進曲が発表されました。この話題を聞くと、春が近づいてきたんだなと思います。

さて、今年選ばれたのはAKB48の曲。2度目という快挙です。しかし、その一方で、AKBについての気になる記事もありました。あくまでもインターネット上の記事ですから、そのまま鵜呑みにすることはできませんが、個人の行為が全体のイメージを作り上げるということについて、「詫中」の一員として置き換えて考えることもできます。

- H元『パラダイス銀河』 光GENJI
- H2『約束』 相川恵里
- H3『おどるポンポコリン』 B・B・クィーンズ
- H4『どなたときも』 榎原敬之
- H5『今ありて』 新大会歌(谷村新司)
- H6『負けないで』 ZARD
- H7『がんばりましょう』 SMAP
- H8『TOMORROW』 岡本真夜
- H9『これが私の生きる道』 Puffy
- H10『硝子の少年』 Kinki Kids
- H11『長い間』 Kiroro
- H12『First Love』 宇多田ヒカル
- H13『TSUNAMI』 サザンオールスターズ
- H14『明日があるさ』 ウルフルズ、Re:Japan
- H15『大きな古時計』 平井堅
- H16『世界に一つだけの花』 SMAP
- H17『君こそスターだ』 サザンオールスターズ
- H18『青春アミーゴ』 修二と彰
- H19『宙船』 TOKIO
- H20『蕾』 コブクロ
- H21『キセキ』 GReeeeN
- H22『My Best Of My Life』 Superfly
- H23『ありがとう』 いきものがかり
- H24『Everydayカチューシャ』 AKB48
- H25『花は咲く』 NHK東日本大震災復興支援ソング
- H26『恋するフォーチュンクッキー』 AKB48

AKBグループのメンバーは挨拶ができないと言われていたと18日放送の「有吉ジャポン」で、ライター・吉田豪氏が暴露した。有吉弘行は、吉田氏に対して「AKBで態度悪いな—なんて子もいたりするんですか？」と質問。吉田氏は「僕は感じたことないんですけど」と前置きしつつ、「怒ってる人は多いですよね」と語る。哀川翔がかつて「なんであいつら俺に挨拶しにこないんだ」とこぼしていたことを明かし、有吉も「それよく聞きますね。『あいつら挨拶できないのかよ』っていろんな人に」と同意している。もちろんグループの全員が挨拶できないわけではないだろうが、AKB=礼儀知らずと思われるも仕方ないほど過去に騒ぎを起こしているようだ。

AKBグループは、AKBだけでも80人以上、SKE・NMBなどの姉妹グループも含めると総勢300人を超す。それだけの大人数に業界のマナーを教えこむのはスタッフも大変な仕事だろうが、こらで徹底的に教育しておかないといずれ大きなトラブルを巻き起こすかもしれない。 ※RBB TADAYより一部引用

また、下のような記事もありました。アイドルもプロスポーツ選手も「礼儀」が大切なんですね。

チームは創立80周年を迎える。これを記念した多くのイベントが企画される中、球団内では「巨人軍は常に紳士たれ」というチーム憲章の一つに回帰すべきという意見が出ていた。桃井恒和社長も「球団創設80年の節目で、グラウンドの内外で巨人軍の歴史と伝統をファンに感じてもらえるような企画を行うとともに、チームに対してもこの伝統を傷つけないように規律を求めていきます」と、あらためて足元を見つめ直す方針を示していた。

そこで持ち上がったのが「ガム禁止令」。ガムにはかむことで集中力を高めたり、リラックス効果をもたらす作用があるとされている。半面、テレビ画面に映し出された選手がクチャクチャとガムをかむ姿が子供たちに与える影響も少なくない。近年の巨人では、外国人選手を除けば打席でガムをかむ選手は少なかったが、ベンチ内では主力選手でも気分転換を求めて口に含んでいた。今年はこれを正すことで、ただ勝つだけでなく、立ち居振る舞いにも巨人の一員らしさを求める。 ※スポニチアネックスより引用